

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	2632
平成18年度部名	保健福祉部		課名	介護予防推進室		課長名 佐藤浩三
平成19年度部名	保険高齢部		課名	介護予防推進課		課長名 佐藤浩三
事務事業名	家族介護教育事業					
予算上の事務事業名	家族介護教育事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			家族介護者等を対象とした講演会、セミナーの開催。		
計画年次	平成18	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
介護者等が自分自身の健康に目を向け、介護を続けていく気持ちを継続していけることを目的とする。				認知症やねたきりの方等を介護している者、認知症に関心がある者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
認知症講演会 専門医(精神科医師)による認知症についての講話を行った。年3回開催、延参加人数294人 介護者健康セミナー 介護体験談、グループワーク、ストレスについての講義を行った。年3コース開催、参加実人員60人(延98人)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 <span style="float:right">[単位:千円]</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	142	230	230	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	142	230	230	
人件費の合計	0	0	1,610	1,610	1,610	
事業コスト合計	0	0	1,752	1,840	1,840	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	介護者健康セミナー			対象名称 と単位	延参加者数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			1,752	1,840	1,840	
対 象 数			98	200	200	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	17,878	9,200	9,200	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.51	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	延参加者数の対前年度比	指標式と指標の説明	本年度延参加者数 / 前年度延参加者数 × 100 延参加者数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			169.0		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	169.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	延参加者数の対前年度比	指標式と指標の説明	本年度延参加者数 / 前年度延参加者数 × 100 延参加者数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			169.0		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	169.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		高齢者を介護する家族の負担は大きく、特にメンタル面での支援が求められていることから、既存事業を見直しつつ、総合的な介護家族支援を行う必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
高齢者や介護家族などが、365日、24時間相談可能な体制づくりや、介護家族の心的負担の軽減を図るためのメンタルケア事業の実施。			高齢者の介護等で悩んでいる介護者の把握。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			